

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校給食室設備整備					所管	教育委員会 学務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]					[事業開始]	昭和 2 1 年度	
							[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし				
	事業対象	区立小学校在籍児童・教職員							
	事業目的	安全な給食を維持するため、給食用備品等を整備する。							
事業内容	備品の老朽化・ドライ化に伴う買替工事 給食用の簡易ボイラーの老朽化に伴うマルチ温水器へ計画的に買替工事								
委託の有無	一部委託		委託内容	備品の廃棄委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	老朽化・ドライ化仕様備品の買替	校	19	19	19	19		
		給食室床ドライ化	校	10	9	9	9		
	成果指標	食中毒事故	件	0	0	0	0		
	決算額 (単位：千円)				16,590	17,710	20,765		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			1,350	1,250	1,278		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			4,116	8,046	17,899		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			12,474	9,664	2,867		
		総経費			17,940	18,960	22,044		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0		
一般財源（区負担額）			17,940	18,960	22,044				
前年度から改善した事項		給食用備品の老朽化が著しく、安全・衛生面上危険なものについて優先して買替改善をはかった。給食専用簡易ボイラーについてもマルチ温水器に順次買替を進め、維持補修費及び備品買替の軽減を図った。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	給食室の設備整備は安全な給食を提供する上で不可欠である。						
	効率性	3	厨房設備の修繕や、計画的に備品の入替、設備整備等の保守点検等により安全・衛生を維持している。						
	手段の適切性	3	国・都の衛生管理基準に従い、給食室のドライ仕様化を目指し効果をあげている。						
	目的達成度	4	給食室備品については、計画に沿って順次買替が進んでいる。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
給食室のドライ運用、老朽化した設備の整備等を今後も順次進め安全衛生を維持する。						維持			